【子育て推進課】デジタルがつなぐ子どもの居場所づくり

KARIYA SMART CITY

01 | 要点

背景

- こども大綱で多様な居場所づくりが推進されている
- 刈谷市こども計画でも居場所の充実を掲げる
- 市内高校生対象のアンケートで**「困ったときに相談したり悩みを話せる人がいない」の回答は２割程度**

解決したい課題

- 市内全ての小学生・中学生・高校生が、**匿名で気軽に交流できる新たな場**をつくる。

✓ 相談窓口に出向くことに抵抗を感じる子どもも交流できる場

✓ 困難な状況が日常になり自覚のない子どもへの支援

実現したい未来

- 子どもたちが**「気軽に楽しく」交流し、地元トークで盛り上がれる居場所**を提供したい
- 誰にも相談できない・悩みを話せない子どもの減少
- 不安や悩みを抱える子どもの減少

想定する解決策や技術

- メタバース、グループチャット、電子掲示板
- 趣味の話や日頃の愚痴、悩みなどの聴き手となる 雑談AIチャットボット
- 支援を要する発言がないか分析する対話分析AI技術

実証実験後の発展性

- R7年度：市内の**特定イベント期間にシステムを運用**し、子どもたちの反応やAIの機能性を検証する
- R8年度：機能をブラッシュアップし、本格実装を目指す

提供可能なデータ・環境等

- 市内の小・中学生、高校生向けアンケートデータ

【子育て推進課】デジタルがつなぐ子どもの居場所づくり

KARIYA SMART CITY

02｜ストーリー（1/4）

背景と現状

◆こども大綱（令和5年12月22日　閣議決定）
こども・若者の視点に立った**多様な居場所づくり**を全国的に推進しています。

刈谷市こども計画（R7～11年度、こども大綱を勘案して策定）
４つの基本目標のうちの１つに「**こども・若者が健全に育つ環境の整備**」
具体的な取組の中に子どもの**居場所の充実**を掲げています。

刈谷市の子どもの居場所

- 図書館、児童館、放課後児童クラブ
- 部活動（順次縮小）
- 子ども相談センター
- 各種内容に応じた相談窓口　等

- 困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいない
  高校生　約17%
- 「友達が相談したり悩みを話せる人である」
  小学生/中学生 約83%
  高校生約80%
- インターネット空間がほっとできる
  小学生　約60%
  中学生　約74%

※市内高校生対象のアンケート（N=300）
市内小中学生対象のアンケート（小学生 N=1100、中学生N=1000）

【子育て推進課】デジタルがつなぐ子どもの居場所づくり

KARIYA SMART CITY

02｜ストーリー（2/4）

子どもたちの居場所を充実させたい

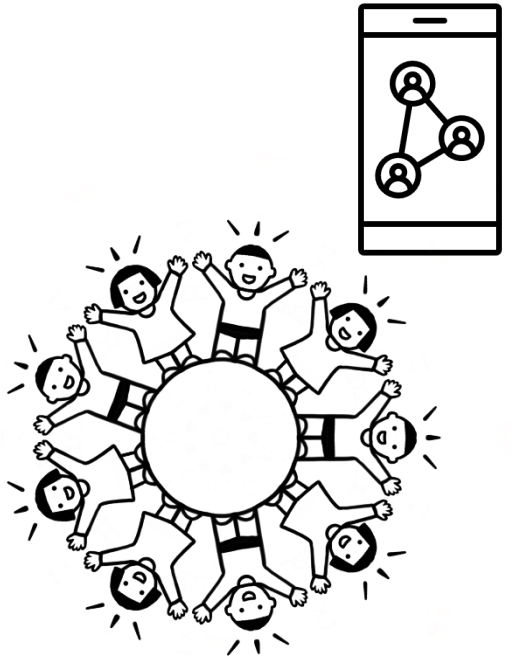
◆インターネット空間がほっとできる場となる要因として、
１つに**匿名性の高さがもたらす気軽さや安心感があります。**

現状、「匿名で非対面で交流ができる居場所」が限られています。

市内**全ての小学生・中学生・高校生**が、
匿名で気軽に交流できる新たな居場所をつくりたいと考えます

これにより、相談窓口への訪問に抵抗を感じる子ども（※）も交流できる場となる他、従来の相談窓口では捉えることが難しい「困難な状況が日常になり自覚のない子ども」へのサポートも行いたいと考えています。

※不登校や引きこもりの子ども、対面でのコミュニケーションが苦手な子ども



【子育て推進課】デジタルがつなぐ子どもの居場所づくり

KARIYA SMART CITY

02｜ストーリー（3/4）

デジタルを活用して気軽さ・安心さを確保する

◆以下のような技術を活用し従来にない仕組みを構築する
企画提案を求めます。

- 匿名で、気軽にアクセスし、交流できる場の実現として、**メタバース、グループチャット、電子掲示板**
- 交流できる他者がいなくても、趣味の話や日頃の愚痴、悩みなどの聴き手となる **雑談AIチャットボット**
- 対話内容をキャッチし、内容に支援を要する発言がないか分析する**対話分析AI技術**　など

既存サービスと問題点

▲ SNS
匿名性は高く、気軽に利用できるが、
不特定多数の人が利用することによるリスクがある

▲ 困難な状況にある人を対象にしたオンライン仮想空間
利用者が少なく、利用者同士の交流が図られにくい

▲ オンライン相談窓口
困難を抱えている自覚がない子どもは掘り起こせない。

これらのサービスでは、刈谷市の課題は解決できない

【子育て推進課】デジタルがつなぐ子どもの居場所づくり

KARIYA SMART CITY

02｜ストーリー（4/4）

こんな姿を目指しています！

◆**刈谷市の子どもたちが「気軽に楽しく」交流し、地元トークで盛り上がれる居場所**を提供したい

◆この課題は、全国の他自治体も同じように抱えていると思います。この取組が先進事例となるような、素晴らしい提案をお待ちしています。

子どもたちが興味関心を持って、既存のオンライン空間（YouTube等）のように、**気軽にアクセス**できる

利用した子どもが、**「楽しい」「居心地がいい」と思えるような空間**で過ごせる

市内の小学校、中学校、高校に通う生徒が**交流する中で、自然と愚痴や悩みをこぼせる**

「誰にも相談できない、悩みを話せない」という**苦しみを抱える子どもを減らす**

従来のサービスでは掘り起こせなかった**悩みを持つ子どもを見つけ、支援につなげる**